

同窓生 今日この頃

懇親会を開催 藤馬会

中野 眞一（昭和57年卒）

藤馬龍太郎名誉教授のゼミ生でつくる「藤馬会」は、2016年の懇親会を11月26日、本学寒梅館のフレンチレストラン「M」で開きました。

山形県や広島県など遠方からも含め1967年度生、'95年度生28人が参加。永田和行顧問（昭和46年卒）の「段々寄る年波を感じるが、末永く親しくお付き合いをしていただけたら」との言葉とは裏腹にすこぶる元氣な乾杯の音頭で幕開けしました。立食形式でグラスを傾けながら旧交を温めながら歓談しました。

司会役の福塚秀彰会長（昭和49年卒）が会員の近況を聞き出しました。「日帰りで山形から来てくれた人がいますよ」と紹介された島藤諭完さん（平成6年卒）が「夜行バスで到着して東福寺の紅葉を見てから来ました。こんな楽しい会はないので来年もきつと来ます」と、疲れをまったく感じさせない声で話すと、福塚会長が「ほんまに山形から来たんかいな」とツッコミを

入れるなど、ユーモアあふれる進行に会場は何度も笑いの渦に包まれました。

リニューアル中の藤馬会ホームページをパソコン画面に映し出して説明。欠席した会員からの近況メッセージも披露しました。紅葉に彩られた東山を眺めながら、楽しい時を過ごしました。

会員は'66年度生から'95年度生まで約400人です。毎年開いてきた総会を、12年の第25回開催後、いったん休会しましたが、会員から親睦の場を望む声が高まったので、15年から肩肘張らない懇親会に切り替えて毎秋集っています。

会の発足当時は、就職支援を目的に在校生と卒業生をつないでいましたが、会員は40歳、70歳となり、後半生を豊かに過ごすための親睦を深める場へと、会の役割も次第に変わってきています。福塚会長も「同好の士同士で集まるなど、藤馬会をきっかけに多彩な交流が生まれたら」と会の発展に期待しています。

本年は11月18日（土）に開催する予定です。詳細は藤馬会ホームページ <http://tohma-kai.org/> をご参照ください。

会員限定のフェイスブック「藤馬会の交流の場」

(<https://www.facebook.com/groups/tohmakaisalon2015/>)でも参加募集中です。

